

防災特集号

～時々、日本遺産。～

梅の花も咲き、春の訪れが待ち遠しい季節となりました。
まだまだ寒い日が続きますが、新型コロナウイルス感染予防を含め、体調管理には充分お気をつけてお過ごしください。
また、空気が乾燥してきましたので、くれぐれも火の元にはご注意ください。



住宅用火災警報器の点検します。

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となったグループを対象に無線式連動型住宅用火災警報器の点検を行います。
町務員さんと日本遺産活用室の職員がご自宅にお伺いしますので、よろしくお願ひします。

【目的】: 火災警報器のボタンを押してもらい、正常に連動しているかの確認を行います。

【期間】: 2月14日(月)～各グループ調整が出来次第、チラシ等でお知らせ

【時間】: 1軒につき、15～30分程度(アンケート含む)

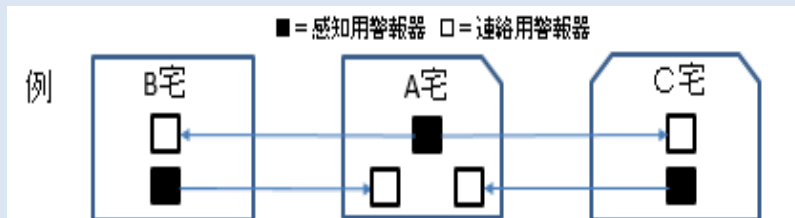
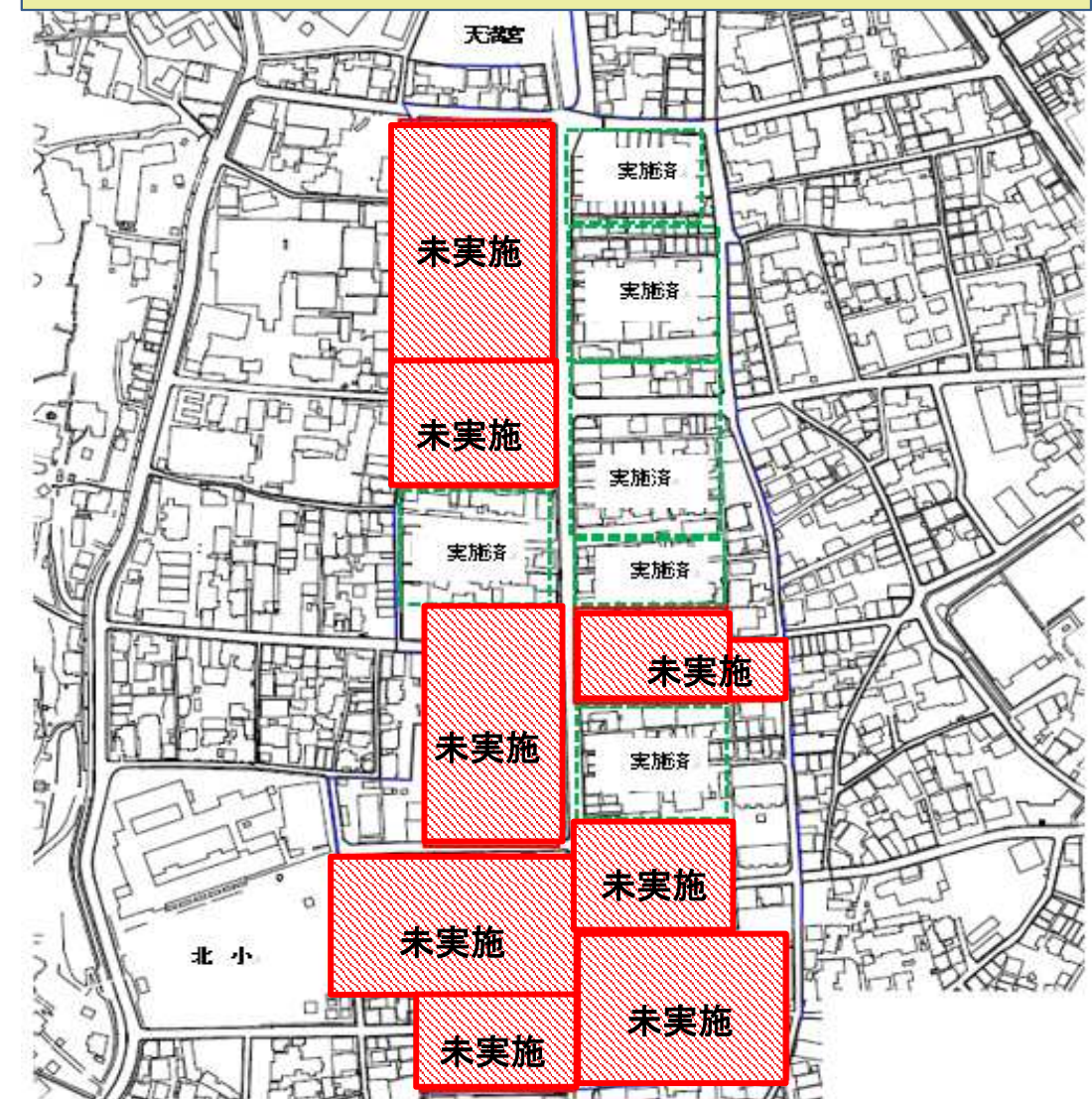
【対象】: 昨年度未実施のグループ(右図参照)

【その他】: 訪問する際、新型コロナウイルスの予防対策として、マスク着用等を行います。

実施日に都合が悪い場合、日を改めて、日本遺産活用室職員がお伺いします。

【問い合わせ先】: 日本遺産活用室(電話0277-46-1111 内線347)

通信テスト実施状況



～ 防災に関して、確認をしてみましょう。～

地震が発生したら

地震発生時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが慌てず行動することが極めて重要です。

いざというとき落ち着いて行動できるよう、日頃から地震への正しい心構えを身につけておくことが大切です。

・チェックポイント

1. まず落ち着いて行動を

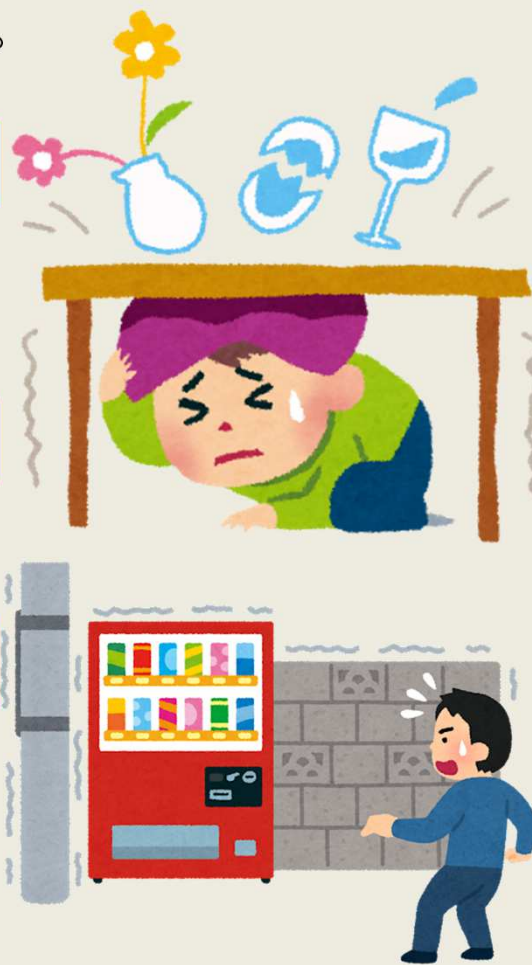
- 机やテーブルに身を隠す。
- 非常脱出口を確保する。
- あわてて外に飛び出さない。

2. あわてず冷静に火災を防ぐ

- すばやく火の始末をする。
- 火が出たら初期消火に努める。

3. 避難時の注意

- 徒歩で持ち物は最小限にする。
- 狭い路地や塀ぎわから遠ざかる。
- がけや川べりから遠ざかる。
- 正しい情報を入手する。
- 協力し合って応援救護する。



火災に気をつけましょう

住宅火災については、平成18年に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、早期発見・早期通報により、防火対策が高まりつつありますが、日頃から火災予防を心掛けることが肝心です。

・チェックポイント

- 寝たばこはしない。
- ストーブのまわりに燃えやすいものを置かない。
- コンセントのほこりを清掃し、たこ足配線はしない。
- ガスコンロ使用中、火のそばを離れない
- 仏壇のろうそくや線香をつけたまま、部屋を離れない。



日頃からの対策も忘れずに

・チェックポイント

- 消火器を備えつけ、使い方を身に付ける。
- 避難場所などについて家族で話し合う。
- 非常持ち出し品を準備する。
- 家具等の転倒落下防止措置を行う。
- 家の土台などを点検する。
- ブロック塀や石塀を点検する。



日本遺産ウイーク in 桐生 かかあ天下一ぐんまの絹物語一

伝建まちなか交流館からのお知らせ。

日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語一」や市内にある日本遺産構成文化財の魅力を知っていただくため、館林市・足利市・桐生市の3市長によるパネルディスカッション(2月5日(土))や日本遺産のPRイベントを開催します。詳しくは桐生市のホームページをご覧ください。

日程: 令和4年2月5日(土)～2月13日(日) 7日(月)は休館

会場: 有鄰館 ※1 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、内容が変更、または、中止となる場合があります。内容に変更等が生じた際は、ホームページにてお知らせいたします。



※2月6日・13日(日)はイベント対応のため、交流館は16時で閉館となります。

現在、伝建まちなか交流館では、雨漏り等のため、修理を行っています。

皆様には、ご不便・ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

交流館は、通常通り開館しています。

工事期間: 令和4年1月28日(金)～2月28日(月)予定

※1 本町通り歩道及び南側の道路一部も含めて平屋部分の周囲に足場を掛けますので、通行の際には十分ご注意ください。

